



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2016年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

象徴の務めに不安

天皇陛下、お気持ち表明

天皇陛下は8日午後3時、象徴としての務めについてのお生前退位の実現に強い思いを示された。82歳となり、次第に進む体の衰えを考慮し「全身全霊をもって象徴の務めを果たしていくことが難しくなるのではないかと案じています」と語り、国民に理解を求めた。

公務の重要性を強調し「象徴天皇の務めが安定的に続いていくことをひとえに念じる」とした。

今回の表明の契機として、2012年に受けた心臓の冠動脈バイパス手術後に体力低下を覚えるようになった。「従来のように重い務めを果たすことが困難になった場合、どのように身を処していくことが、国にとり、国民にとり、私のあとを歩む皇族にとり良いことであるか考えるようになった」と明かした。



象徴としての務めについてのお気持ちを表明される天皇陛下(7日、皇居・御所応接室(宮内庁提供))

と案じています」と語り、国民に理解を求めた。公務の重要性を強調し「象徴天皇の務めが安定的に続いていくことをひとえに念じる」とした。実現には、皇室典範の改正などが必要となる。政府は既に水面下で検討を進めており、法整備に向けた議論が本格的に始まる見通しだ。

憲法上、天皇は国政に関する権能がないため、陛下は「現行の皇室制度に具体的に触れることは控える。個人としての考えを話す」とした。今回の表明の契機として、2012年に受けた心臓の冠動脈バイパス手術後に体力低下を覚えるようになった。「従来のように重い務めを果たすことが困難になった場合、どのように身を処していくことが、国にとり、国民にとり、私のあとを歩む皇族にとり良いことであるか考えるようになった」と明かした。